

小児・AYA世代がん患者の晩期合併症対策とオンコ エンドクリノロジーの創成

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2023-01-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三善, 陽子 メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4900

小児・AYA 世代がん患者の晩期合併症対策とオンコエンドクリノロジーの創成

健康栄養学部 健康栄養学科 三善 陽子

【背景】

近年がん患者の治療予後が改善するに伴い、小児、思春期・若年成人 (adolescent and young adult : AYA) 世代がん患者の晩期合併症 (late effects) が問題となっている。糖尿病・脂質異常症・高血圧などの内分泌代謝異常を合併する頻度が高いことから、腫瘍学 (oncology) と内分泌学 (endocrinology) を融合させたオンコエンドクリノロジーという新規領域の発展が期待されている。

【目的】

小児・AYA 世代がん経験者 (がんサバイバー) の長期的な健康維持のためには、食生活を含む健康管理が重要と考えられるが、その実態やニーズは明らかではない。そこで本研究では、小児・AYA 世代がん患者の栄養療法による晩期合併症対策を目標として、以下の調査研究を行った。

【対象と方法】

研究①【既報の調査】

- 小児・AYA 世代がん患者のフォローアップにおける栄養管理に関する文献検索
- がん患者向けと、医療従事者 (医師、看護師、管理栄養士など) 向けの、栄養・食生活と健康に関する website・パンフレット・アプリなど情報ツールの検索

研究②【小児・思春期がん患者の栄養食事指導の実施状況に関するアンケート調査 (管理栄養士対象)】

- 調査対象：近畿 5 大学 (大阪大学医学部附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、近畿大学病院、大阪医科薬科大学病院、関西医科大学附属病院) の栄養管理部の代表者

研究③【小児・思春期がん患者の栄養食事指導の依頼に関するアンケート調査 (医師対象)】

- 調査対象：大阪の小児・思春期がん患者の栄養消化器疾患を診療する医師

研究④【がんの治療中および治療後の栄養・食生活に関するアンケート調査 (がん患者対象)】

- 小児期あるいは AYA 世代にがんの治療経験のある、現在 15 歳から 39 歳以下の患者を対象とする web 調査

【結果】

研究① (既報調査)

がん患者の栄養・食生活と健康に関する文献・website・パンフレットなどの情報ツールを収集した。

研究② (管理栄養士対象)

近畿 5 大学医学部附属病院の管理栄養士より、小児・思春期がん患者の栄養食事指導の実施状況や問題点について回答が得られた。小児・AYA 世代がん患者の栄養食事指導の依頼件数は少なく、活用されていない現状が明らかとなった。

研究③ (医師対象)

全国調査に向けた pilot study として、大阪小児栄養消化器病懇話会の世話人を対象として、小児・思春期がん患者の栄養食事指導の利用状況や問題点を調査した。小児がん患者の診療を行う医療施設 (小児科・小児外科) の代表者 13 名より回答が得られたが、栄養食事指導を活用していない施設が多数であった。

研究④ (患者対象)

小児・AYA 世代にがん治療を経験した、現在 15~39 歳の男女計 200 名を対象に、インターネット調査を実施した。がんの治療中および治療後の健康面と食生活には様々な問題が存在していた。がん患者は健康管理のために信頼できる情報や相談できる窓口を求めていることが明らかとなった。

【考察】

小児・AYA 世代がん患者の栄養や食生活には様々な問題が存在し、情報ニーズは高いと考えられた。その一方で、医療機関における栄養食事指導の活用は低い現状が明らかとなった。今後は小児・AYA 世代がん患者の晩期合併症対策として、食生活を含む健康管理に関する情報提供と相談支援体制の整備が重要と考えられた。